



個人投資家様向け会社説明会



株式会社 **大気社**

東証1部(証券コード:1979)

2018年3月23日

Copyright 2018 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.



～ 本日まで説明する内容 ～

1. 当社事業の紹介
2. 当社の強み
3. 成長戦略
4. 業績の推移
5. 株主還元



1. 当社事業の紹介



1 - 1. 会社概要

会社名	株式会社大気社
代表者	芝 利昭 代表取締役社長執行役員
本社所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
創業	1913年(大正2年)4月10日
株式	東証1部上場 (コト:1979)
資本金	64億55百万円
連結年間売上高	2,006億円 (2017年3月期実績)
従業員数	個別1,480名 連結4,842名 (2017年9月30日現在)
連結子会社	39社 (国内3社 海外36社) (2017年9月30日現在)
事業内容	ビル空調設備、産業空調設備、自動車用塗装システムにおける諸設備・装置の設計・施工・監理

1 - 2. 事業分野

3つの分野で安定した経営を行なっています

環境システム事業



①ビル空調

オフィスビルをはじめ、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、さまざまな施設の中で、**人が快適に過ごすための空調設備の設計、施工**を行なっています。

★都心の再開発計画など案件は豊富



②産業空調

電気・電子部品、医薬品の分野など、製造過程で高潔浄環境が要求される生産工場や研究施設を対象にクリーンルームなど**“モノづくり”にとって最適な空調設備の設計、施工**を行っています。
また公害防止装置などの環境保全装置にも注力しています。

★電気・電子や製薬分野における案件が豊富

塗装システム事業

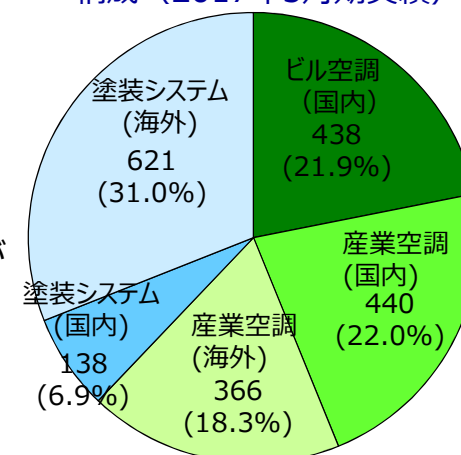


③塗装システム

国内自動車メーカー、米国、欧州、韓国、中国、インドなどの自動車メーカーの**大型塗装プラント**の設計・施工を国内外で手がけています。
省エネルギーと高度な公害防止機能を調和させる大気社の自動車塗装プラントは、世界トップクラスの売上を誇ります。

★世界における自動車の生産台数は今後も増加する見込み

完成工事高（売上高）の構成（2017年3月期実績）





1－3. 主要顧客

①ビル空調分野

ゼネコン、不動産会社、ホテル、百貨店、総合スーパー、病院、学校、鉄道会社、
官公庁 など

②産業空調分野

電気・電子部品メーカー、製薬メーカー など

③塗装システム分野

日系および各国の自動車メーカー など



2. 当社の強み

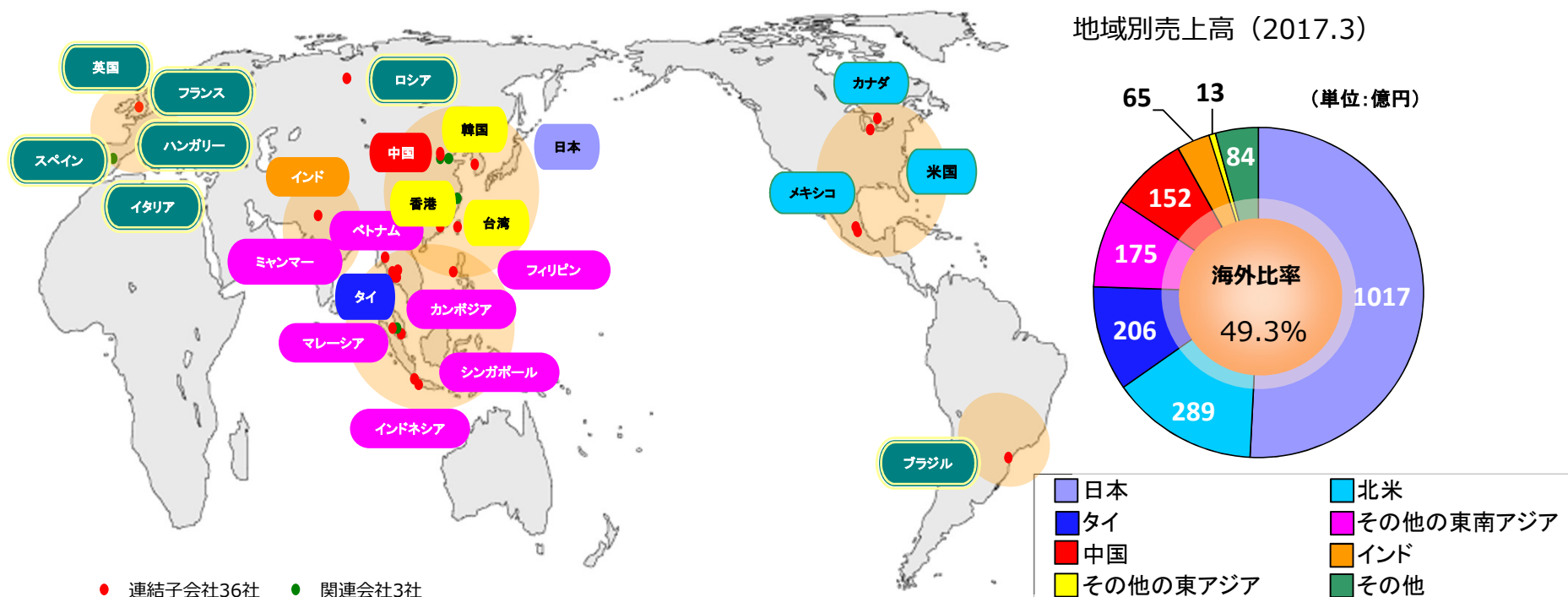


2. 当社の強み

1. 強力なグローバルネットワーク
2. 世界第2位の売上げを誇る
自動車塗装プラント事業

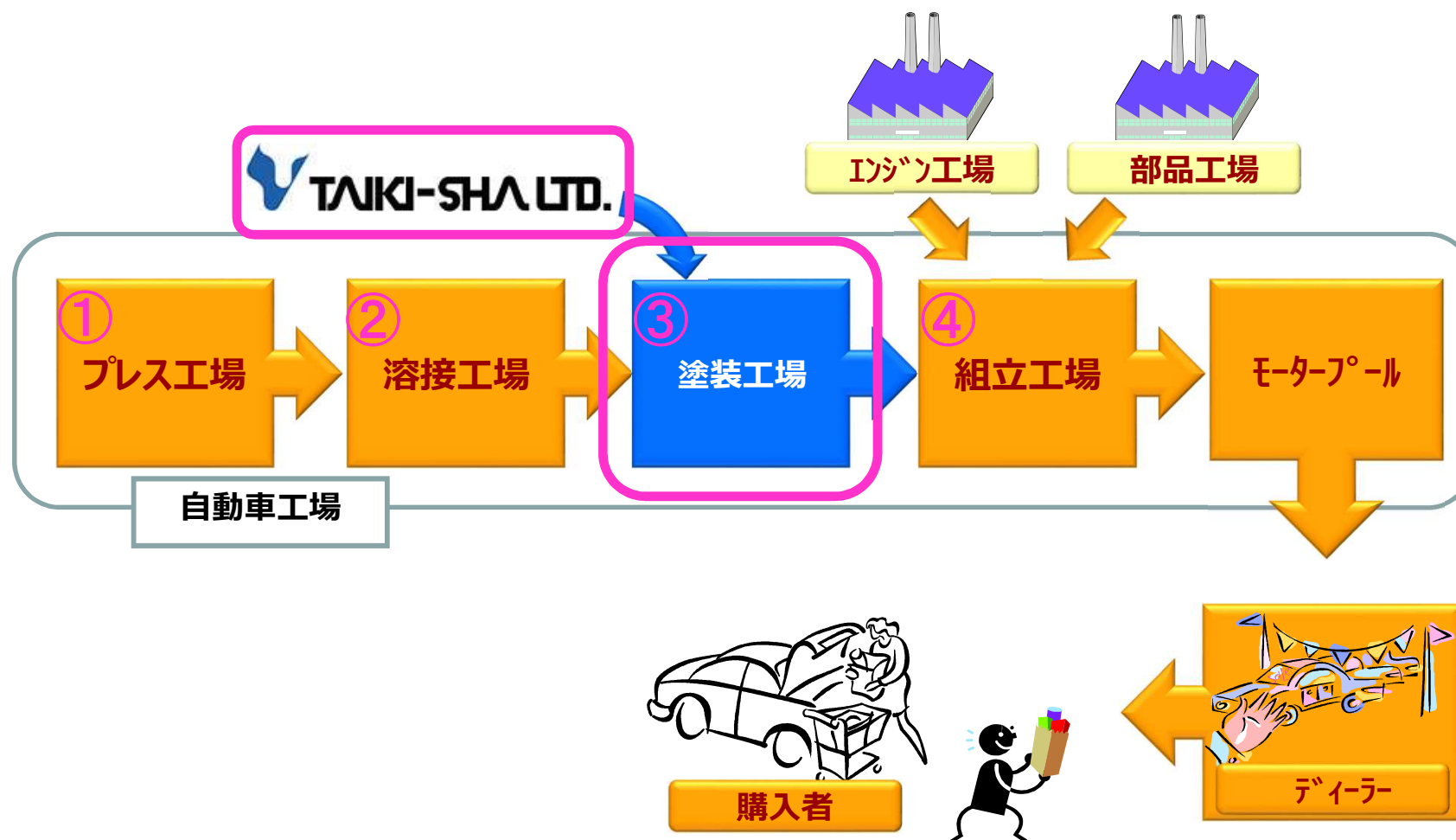
2-1. 強力なグローバルネットワーク

- ・最初に海外に拠点を設立したのはタイ国で、1971年のことでした。
- ・建設業の中で当社は海外売上比率が極めて高いことが特徴で、同業他社に比べ圧倒的に多い
19カ国に36の海外連結子会社を有しています。(2017年3月末現在)
(2017年3月期の海外売上比率は49.3%)
- ・日系メーカーの海外展開が加速する中、これらのグローバルネットワークが、海外プロジェクトの受注に大きく貢献しています。



2-2. 世界第2位の売上げを誇る自動車塗装プラント事業①

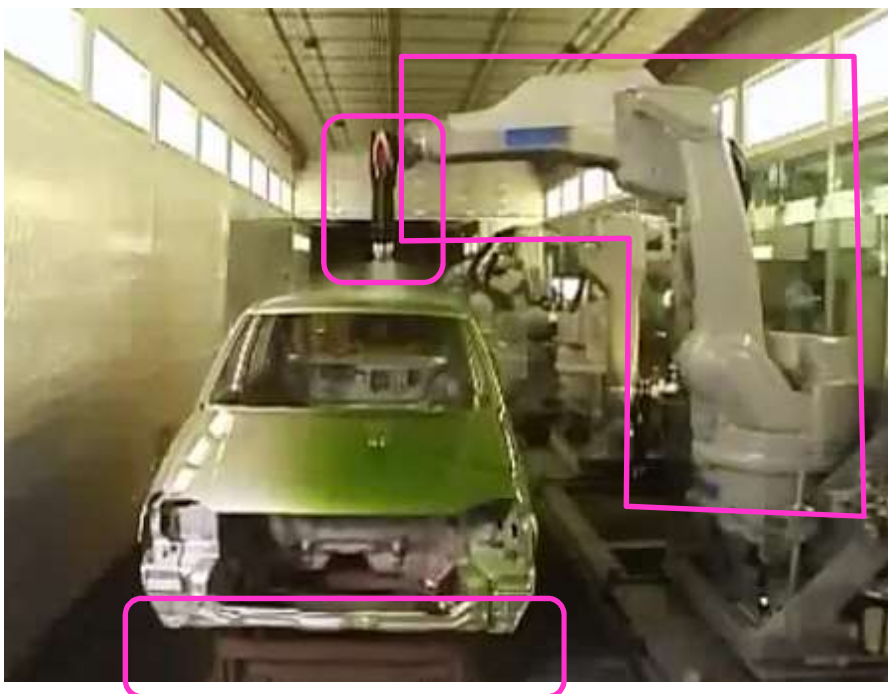
自動車生産工場における塗装工場



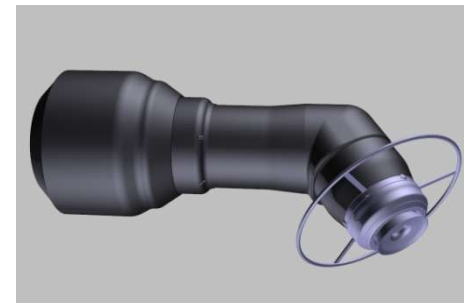
2-2. 世界第2位の売上げを誇る自動車塗装プラント事業②

自動車塗装ラインの一括受注が可能

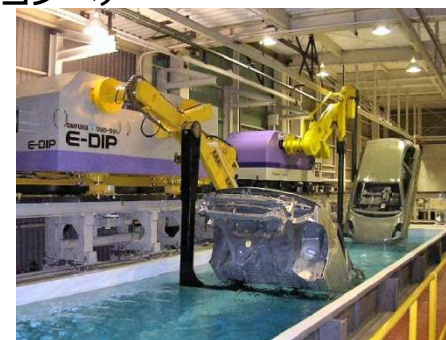
■ 塗装ロボット



■ 塗装スプレー



■ コンベア

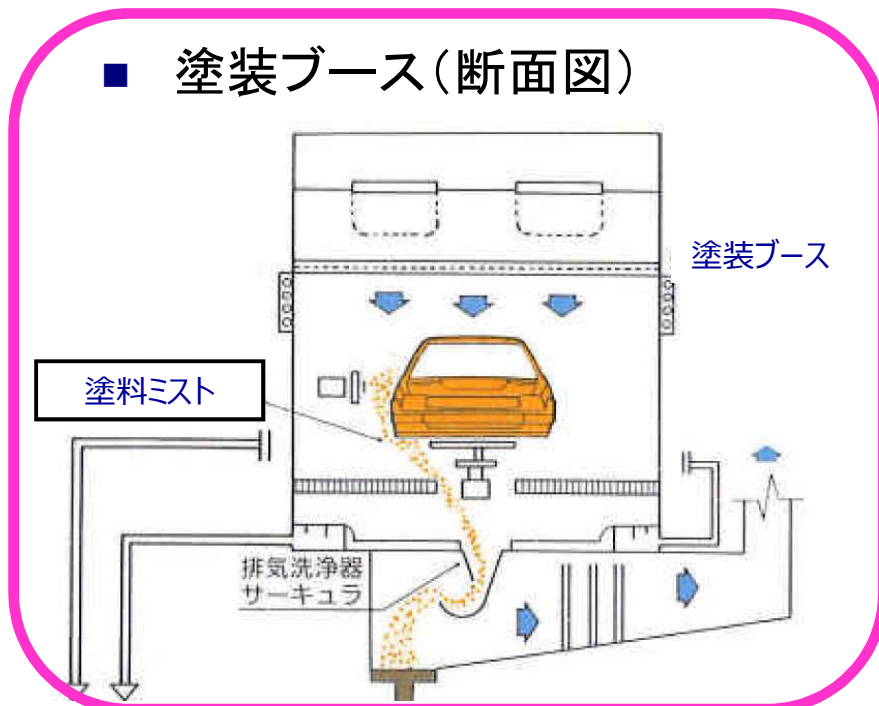


自動車塗装システムで国内トップ・世界第2位の売上

世界の自動車生産台数は、2016年に約9,300万台でしたが、4年後の2020年には1億台を超えと言われており、引き続き当事業の成長を見込んでいます。

2-2. 世界第2位の売上げを誇る自動車塗装プラント事業③

■ 塗装ブース(断面図)



■ オープン (乾燥炉)



塗装システムには各種空調の技術が活かされている

【塗装ブース】

- ・ブース内は高い清浄度を保ち、ボディへの埃の付着を防ぐ。
- ・最適な温湿度を保つ。
- ・天井から床下への気流の流れをつくり、塗装時に付着しなかった塗料ミストを拡散させることなく、速やかに除去する。

【オープン (乾燥炉) 】

- ・最適な温湿度の空気、塗装したボディの塗膜をむらなく乾燥させる。



3. 成長戦略

3 - 1. 環境システム事業における成長戦略①

成長する海外市場向けの体制拡充 (1/2)

Taikisha Myanmar Co., Ltd. (大気社ミャンマー) の設立



Taikisha Myanmar Co., Ltd. (大気社ミャンマー)

大気社ミャンマーは、2013年12月に設立した、連結子会社です。

事業内容は空調設備、電気設備、衛生設備、塗装設備の設計・施工・メンテナンスサービスとなっております。大気社グループは、タイ、ベトナム、カンボジア、シンガポール、マレーシア、インドなど周辺諸国に連結子会社を有しており、ミャンマーにおける事業活動に対して万全のサポート体制が整っています。その優位性を生かし、積極的に営業活動を展開してまいります。



大気社ミャンマー開設記念パーティー

3－1．環境システム事業における成長戦略②

成長する海外市場向けの体制拡充（2/2）

タイ国の配電盤製造会社 BTE Co., Ltd. への資本参加

当社のタイ子会社であるTaikisha (Thailand) Co., Ltd.はタイ国の配電盤製造会社 BTE Co., Ltd.（以下「BTE社」）に資本参加を行いました。

当社は中期経営計画において、環境システム事業部の海外事業拡充を目指し「日系顧客のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくり」を施策として掲げています。非日系顧客の案件においては設備・電気工事を一括で発注するケースが多いため、電気工事の技術力を強化すべく、今回のBTE社への資本参加を実施しました。

当社は1971年にタイに拠点を設立以来、半世紀近くにわたり現地に根付いた活動を着実に積み重ねてきました。今回の資本参加を機に、さらなる現地化の推進を図ってまいります。



3 - 1. 環境システム事業における成長戦略③

新規事業の立ち上げ

完全人工光型植物工場事業への参入

当社は2009年6月より当事業について研究開発を行ってきました。

これまで不可能と言われてきた完全人工光型植物工場での結球レタスの安定量産化技術を確立。国内だけでなく海外のお客さまもターゲットに、「ベジファクトリー」の製品名で植物工場システムを販売しております。

この度、当事業の売上規模拡大を目指し、国内外に以下の関連施設を設立しました。

実証開発センターの設立（東京都 板橋）

顧客に大気社ブランドの量産栽培状況を見学していただくとともに、顧客からのニーズの多い、栽培環境を変えて行う品質改善、量産技術、新商品開発などの実証にフレキシブルに対応していきます。



デモセンターの設立（タイ国 アユタヤ）

製品サンプルとして商品レベルのレタスの栽培を行うとともに、ショールームとしての機能を有しており、ASEAN圏へのPR拠点として、ベジファクトリーや生産品のブランド化を推進していきます。



3-2. 塗装システム事業における成長戦略①

グローバル対応と受注活動の強化

2011年5月、塗装設備会社であるGeico S.p.A.社（本社：イタリア・ミラノ市）と業務・資本提携（大気社の出資比率は51%）を行いました。この提携は、両社の持つ技術面および市場面での強みを補完し、さらに強化することを目的としています。

Geico S.p.A.社との提携により、これまで多くの欧州系自動車メーカーにおける大型物件を受注しております。

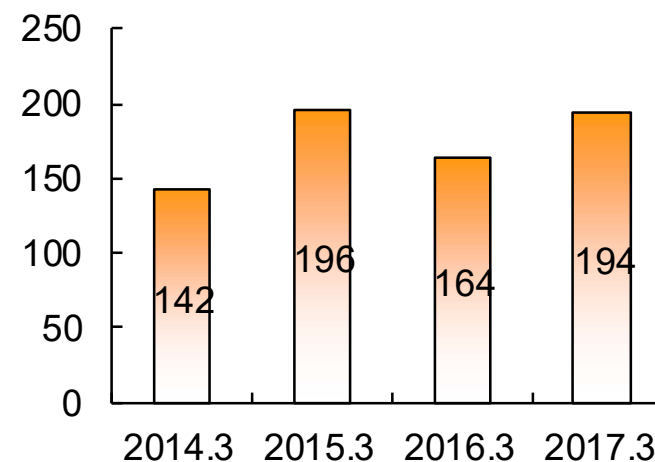
«Geico S.p.A.社の強み»

・イタリア、フランス等の欧州系自動車メーカーに数多くの実績がある。



Geico社グループの完成工事高

単位：億円



3-2. 塗装システム事業における成長戦略②

事業領域の拡大

2014年6月、Encore Automation LLC社（本社：アメリカ ミシガン州）と業務・資本提携（大気社の出資比率は51%）を行いました。

Encore社は当社の塗装システム事業部のオートメーション事業所と同じロボットアプリケーションシステムのエンジニアリング会社であります。

Encore社との協業により、今後北米市場において、塗装システムのロボットアプリケーション事業の更なる拡大、アフターサービス体制の一層の拡充を推し進めてまいります。

さらに、当社海外ネットワークを通じ、Encore社固有技術の北米以外の地域での海外展開の拡大を目指します。

«Encore社の独自技術»

1. 飛行機塗装システム
2. 自動ワイピングシステム
⇒塗装前に塗装面の埃を除去するシステム
3. 自動ポリッシングシステム
⇒塗装前に塗装面を磨き、塗装の仕上がりを向上させるシステム

«Encore社の主な取引先»

北米系自動車メーカーおよび航空機メーカー



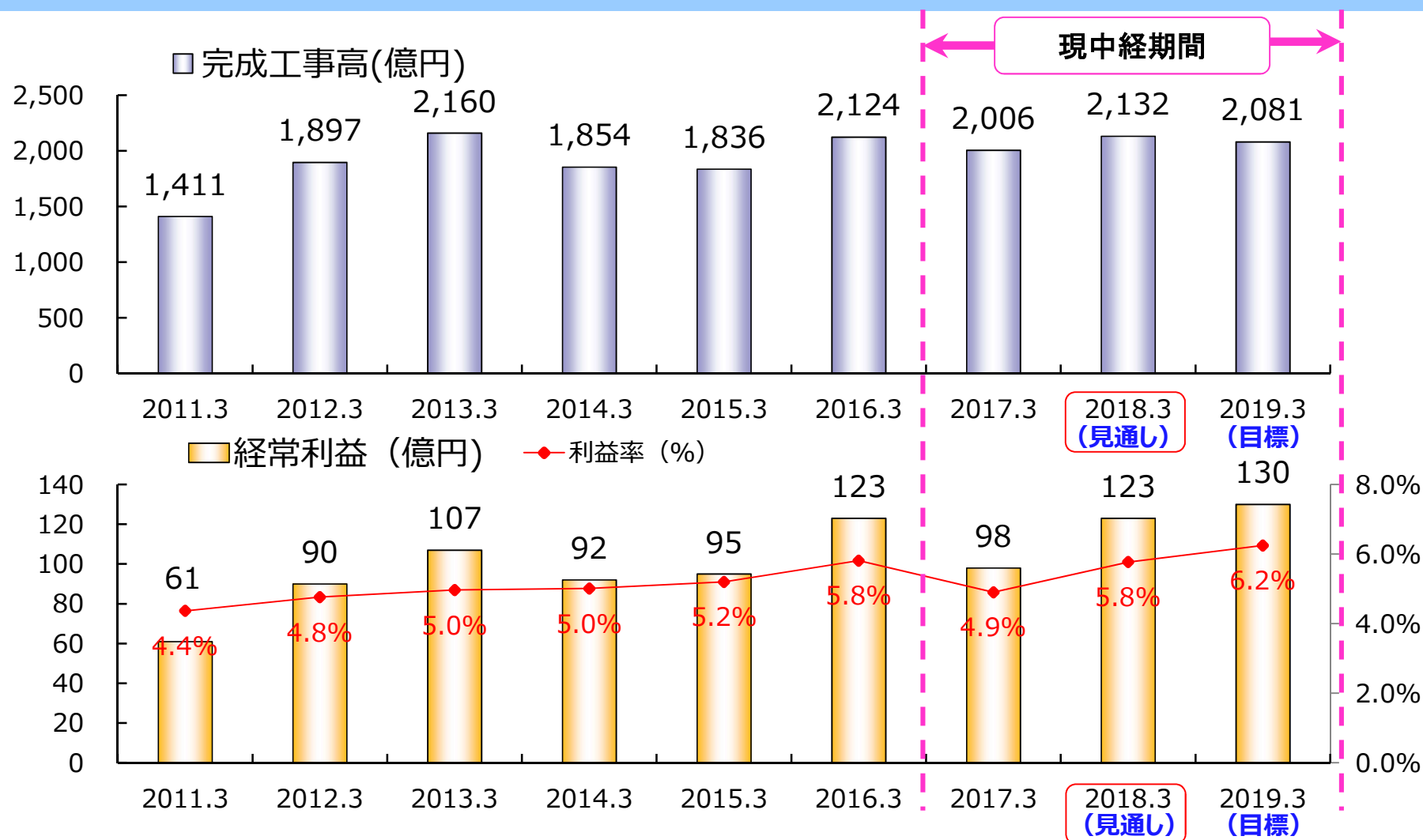
飛行機自動塗装システム



4. 業績の推移

4. 業績の推移

全社 完成工事高／経常利益

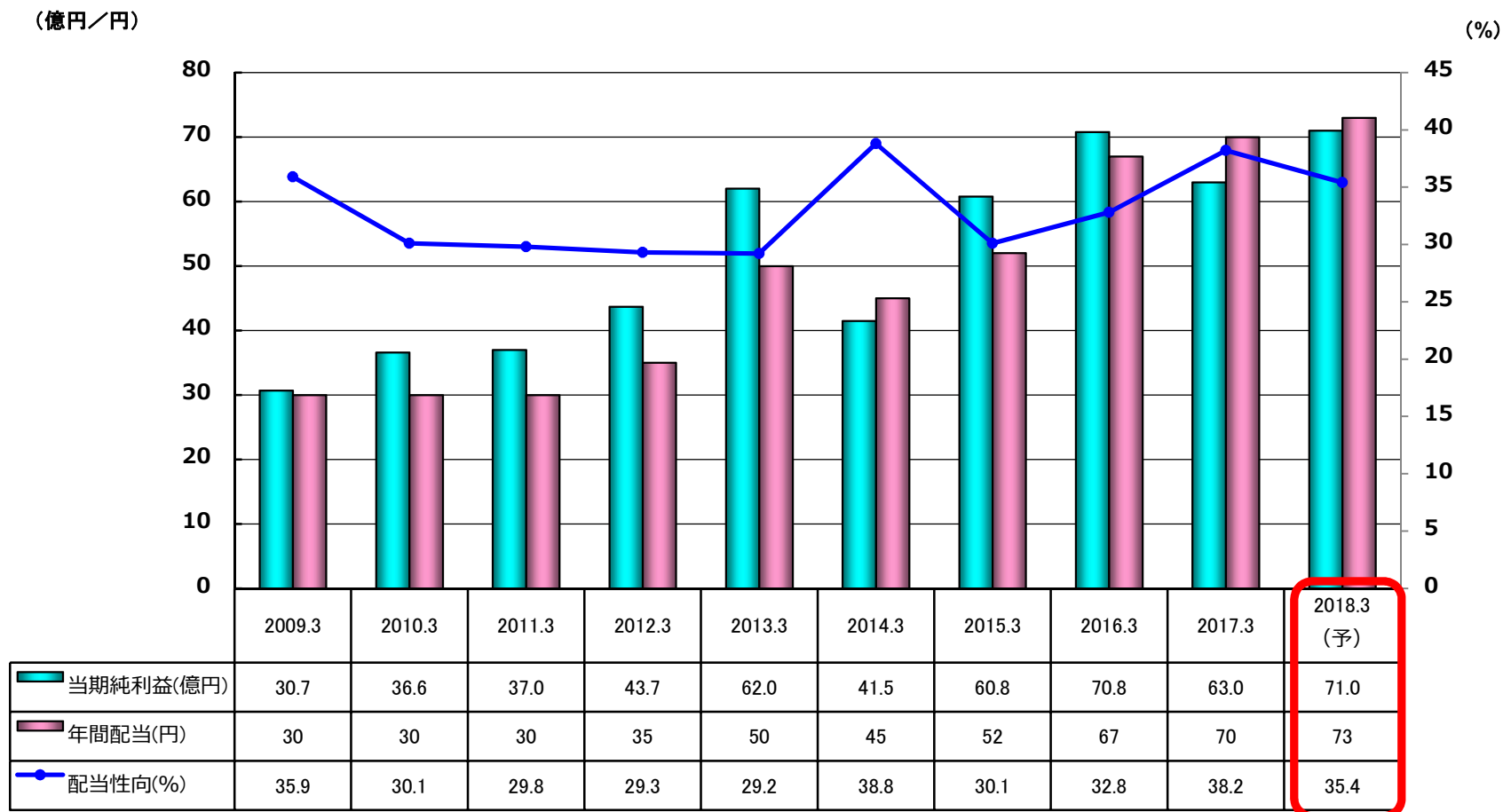


中期経営計画最終年度は、経常利益において過去最高値を目指す



5. 株主還元

5. 株主還元・株価① 当期純利益と配当の推移



・連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施する。

5. 株主還元・株価②

自己株式の取得・消却

取得実績

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77
2006年 2月	597	1,780	1,062
2006年7,8月	500	1,401	700
2011年 8月	300	1,576	472
2012年11月	600	1,614	968
2013年12月	800	2,170	1,736
2015年5月	680	3,245	2,206
2016年11月	356	2,805	999
2017年11,12月	136	3,654	499

消却実績

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2018年 2月	1,700	2,443	4,154

処分実績 (ESOPにて)

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2013年 2月	180	1,860	334

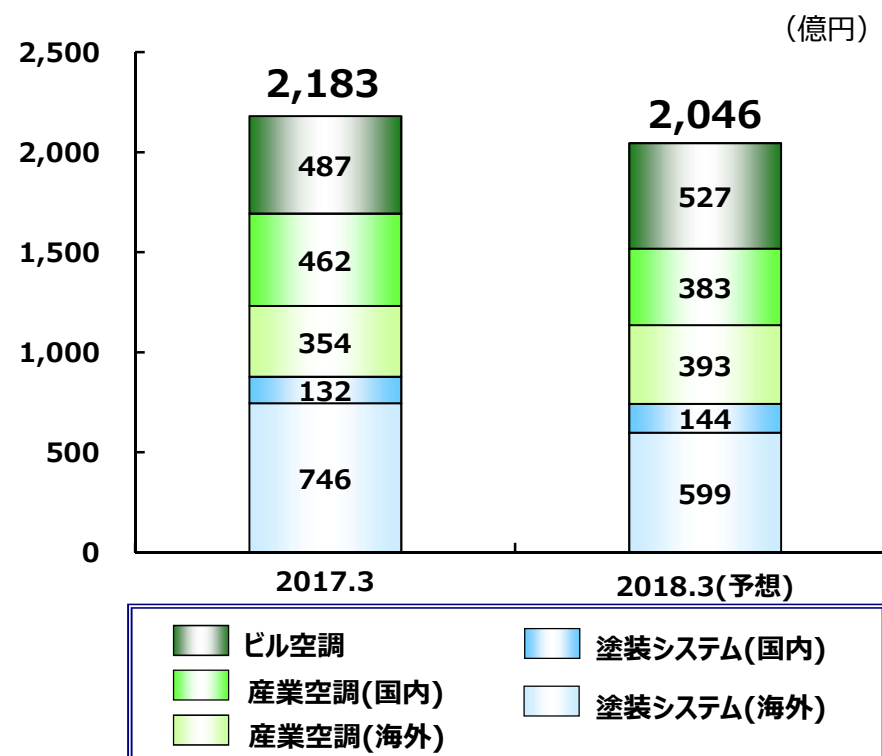


(参考)

(参考) 2018年3月期業績予想① 事業分野別受注工事高

単位：億円

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減
受注工事高	2,183	2,046	-137
(うち国内)	(1,082)	(1,054)	(-28)
(うち海外)	(1,100)	(992)	(-108)
環境システム事業	1,304	1,303	-1
ビル空調	487	527	39
産業空調	816	776	-40
(うち国内)	(462)	(383)	(-79)
(うち海外)	(354)	(393)	(38)
塗装システム事業	878	743	-135
(うち国内)	(132)	(144)	(11)
(うち海外)	(746)	(599)	(-147)



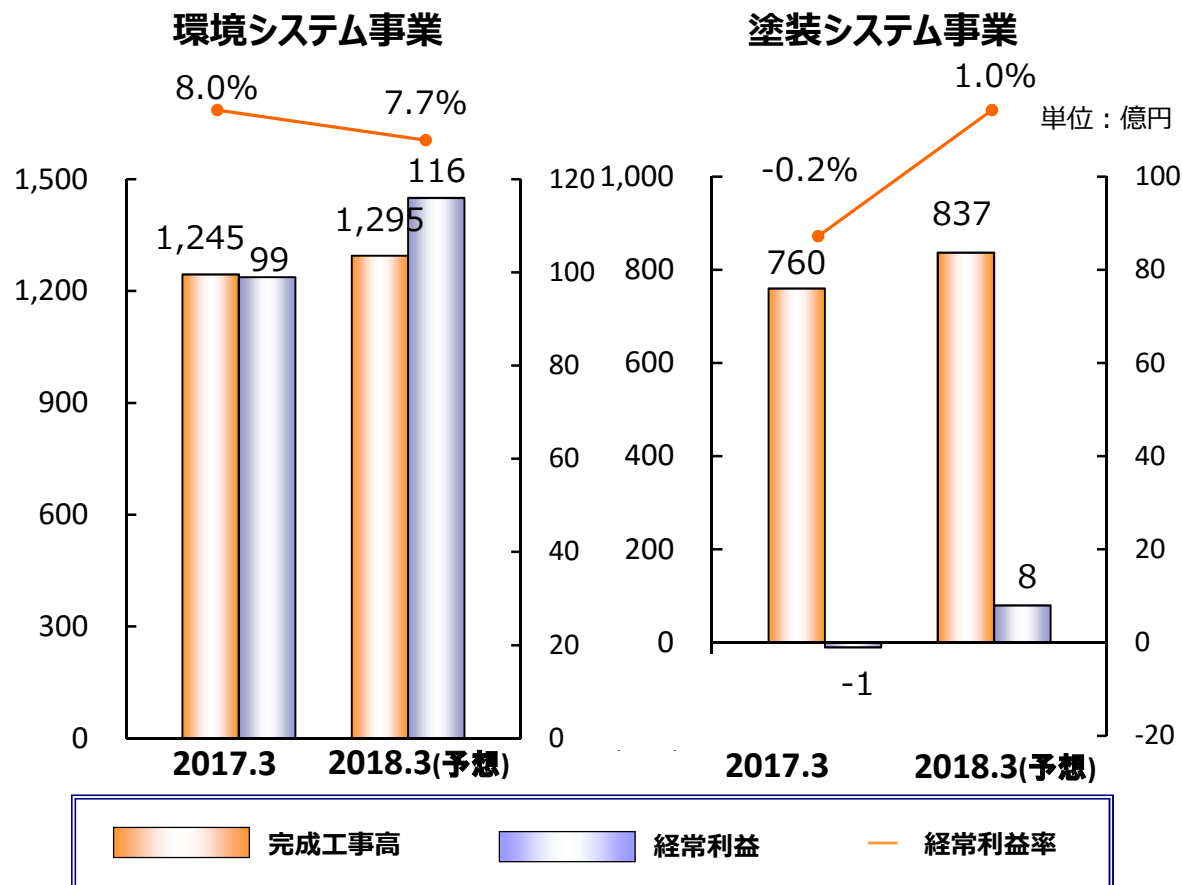
- 塗装は前期の北米での大型案件受注の反動減。

(参考) 2018年3月期業績予想②

事業分野別完成工事高／セグメント別経常利益

単位：億円

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減
完成工事高	2,006	2,132	125
(うち国内)	(1,017)	(1,041)	(23)
(うち海外)	(988)	(1,091)	(102)
環境システム事業	1,245	1,295	49
ビル空調	438	478	39
産業空調	807	817	9
(うち国内)	(440)	(430)	(-10)
(うち海外)	(366)	(387)	(20)
塗装システム事業	760	837	76
(うち国内)	(138)	(133)	(-5)
(うち海外)	(621)	(704)	(82)
経常利益	98	123	24
(同率)	4.9%	5.8%	0.9%
環境システム事業	99	116	16
(同率)	8.0%	9.0%	1.0%
塗装システム事業	-1	8	9
(同率)	-0.2%	1.0%	1.1%

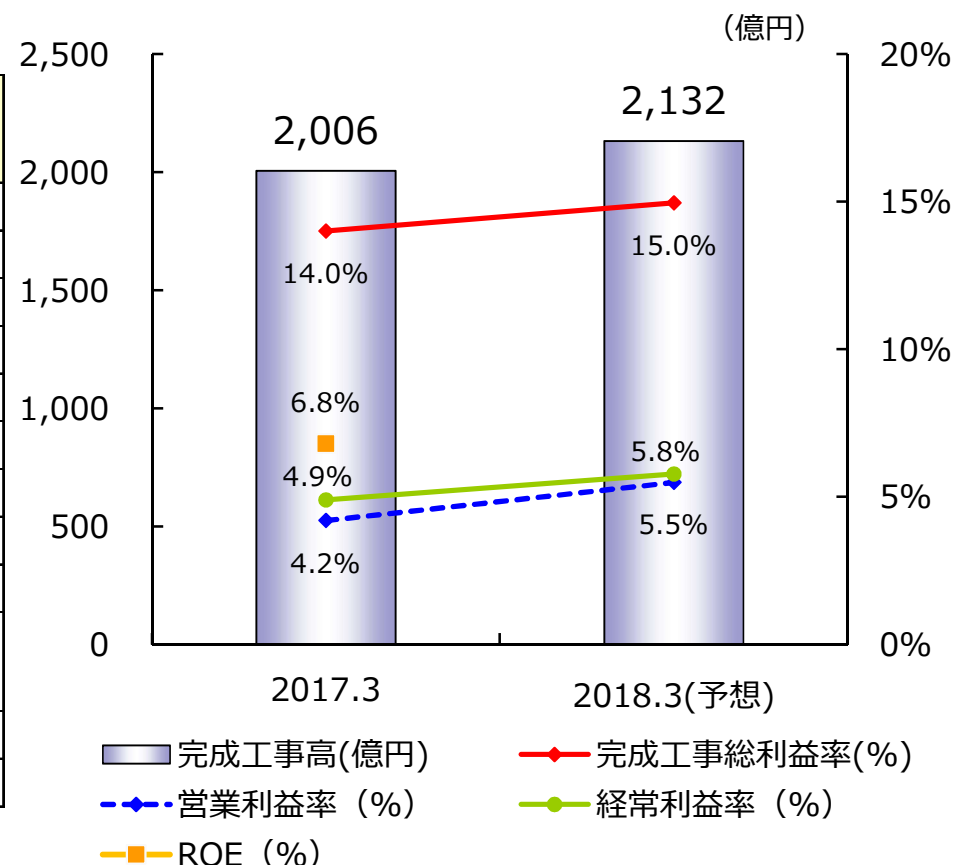


- 塗装システムは、前期は一過性の要因により経常赤字となるとともに、今期上期まで影響。
- 環境システムは、国内の良好な市場環境や原価低減への取組などにより、収益性が向上。

(参考) 2018年3月期業績予想③ 全社 完成工事高／利益

単位：億円

	2017/3 実績	2018/3 予想	増減
完成工事高	2,006	2,132	125
完成工事総利益	281	319	37
(同率)	14.0%	15.0%	0.9%
販管費	196	202	5
(同率)	9.8%	9.5%	-0.3%
営業利益	84	117	32
(同率)	4.2%	5.5%	1.3%
経常利益	98	123	24
(同率)	4.9%	5.8%	0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	71	7
(同率)	3.1%	3.3%	0.2%
ROE	6.8%	-	-



2017年3月期決算為替レート：1USドル=110.3円、1ユーロ=121.41円、1タイバツ=3.12円

2018年3月期想定為替レート：1USドル=109 円、1ユーロ=116 円、1タイバツ=3.12円

※2018年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額

⇒受注・売上：約10億円、経常利益：約5千万円

期初業績予想は、完成工事高、利益額、利益率の全てにおいて、前期を上回る見通し

(参考) 事業を通じた環境貢献①

中国や東南アジアを中心に広がる排気処理技術

世界中で環境規制が厳しくなるなか、今後、海外でのVOCなどの有害な排気を処理する装置の需要は一層の増加が見込まれます。



当社は世界各地のさまざまなメーカーの工場に排気処理装置を納入しています。特に経済成長の著しい中国やタイ、マレーシア、インドなどをはじめとする国々に120基以上の納入実績があり、現在もその多くが稼働しています。

世界中で環境規制が厳しくなるなか、大気汚染対策の強化が喫緊の課題となっていることから、今後、海外での排気処理装置の需要は、よりいっそうの増加が見込まれます。

こうした状況を踏まえ、当社では中国とタイにおいて、排気処理装置を現地で製作する体制を整えました。

今後も長年培ってきた環境技術とグローバルネットワークを生かし、排気処理装置の受注拡大を目指します。



VOC処理装置

【VOCとは】

揮発性有機化合物。溶剤や燃料など、さまざまな分野で使用されているが、大気汚染や人体への健康被害の原因として問題視されています。

(参考) 事業を通じた環境貢献②

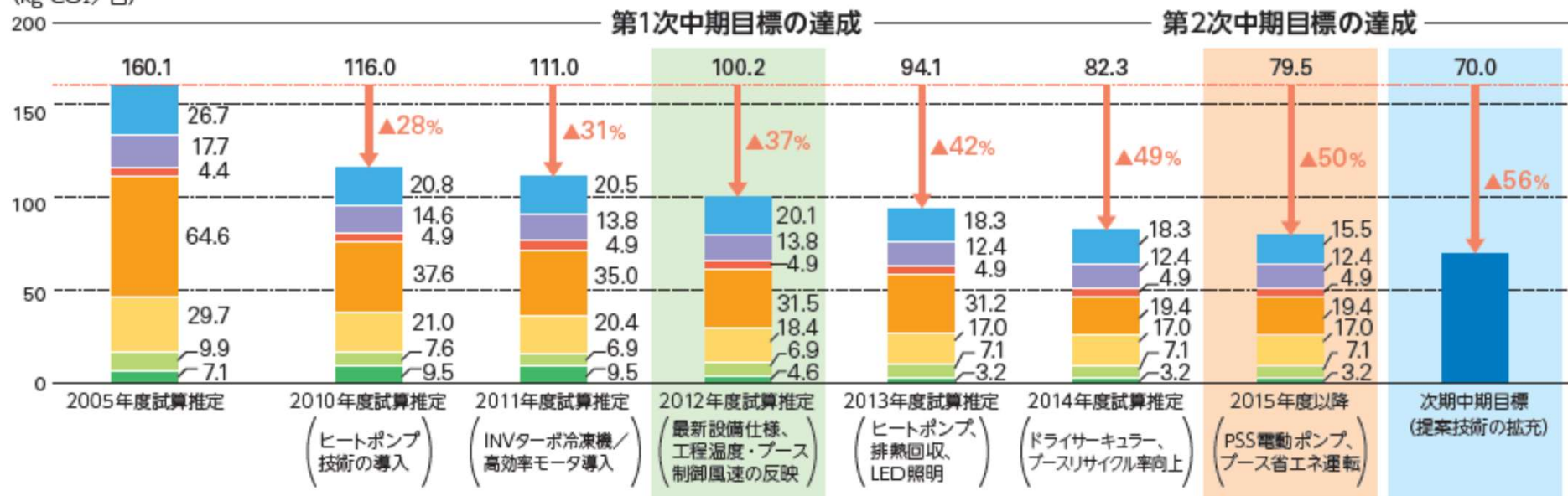
自動車製造工場の塗装工程におけるCO2排出量の削減

当社の技術提案の積み重ねにより、自動車生産台数1台あたりの塗装工程におけるCO2排出量が**2005年比で50%削減**

● CO₂排出削減量提案の推移と今後の目標

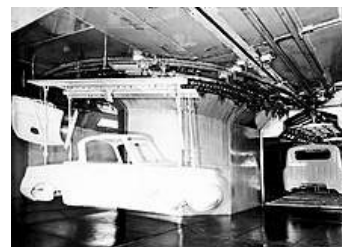
■ 前処理 ■ 電着 ■ オープン ■ メインブース・空調器 ■ フラッシュオフ ■ 簡易ブース・空調器 ■ その他

(kg-CO₂/台)



(参考) 創立以来100年の歴史①

年	沿革
1913年（大正2年）	「合資会社建材社」創業 4月10日東京銀座で創業。 暖房設備、エレベータ、建築材料等のドイツからの輸入、およびその据付を主な業務とする。
1918年（大正7年）	建築設備事業を本格的に開始 わが国初の近代的高層オフィスビルである「東京海上ビル」に、7階建て全館強制循環式温水暖房という画期的な設備を納入。高度な設計・施工能力を持つ暖房設備会社として認められるようになる。
1934年（昭和9年）頃	「繊維の時代」を支える 紡績工場の空調への取り組みを強化し、製糸工程で重要となる工場内の温湿度制御や気流制御に関する高い技術力が顧客に評価され、この分野で業績を急拡大させた。 （産業空調分野進出の契機となった）
1953年（昭和28年）	自動車の塗装設備事業に進出 日産自動車オースチン工場スプレーブース（塗装室）を受注。 塗装プラント事業に乗り出す。



(参考) 創立以来100年の歴史②

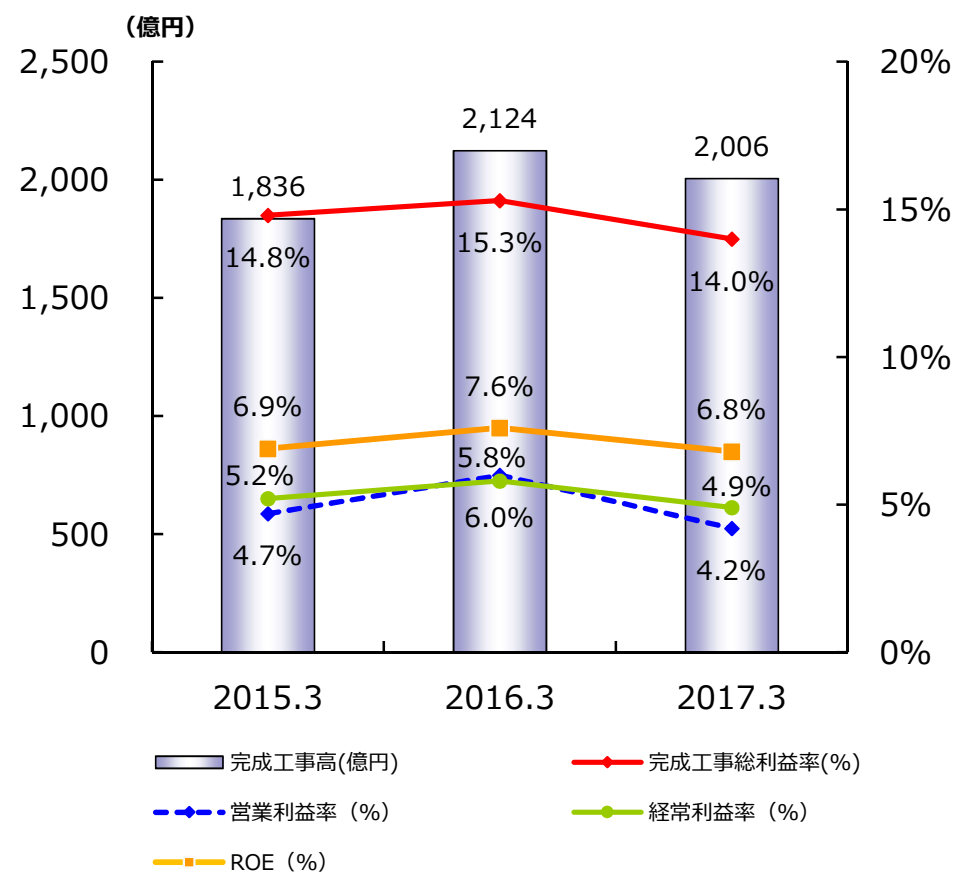
年	沿革
1954年（昭和29年）頃	クリーンルーム事業の拡大 薬品工場、精密機械工場、フィルム工場などでは、製品不良を防ぐため、高い清浄度を維持できる空調設備（クリーンルーム）が求められこれに応えるようになった。 「産業空調の建材社」と呼ばれるようになる。
1960年（昭和35年）頃	国内の全乗用車メーカーから塗装設備を受注するようになる
1971年（昭和46年）	タイに初めて海外子会社を設立
1973年（昭和48年）	創立60周年を機に、社名を『株式会社大気社』に変更
1974年（昭和49年）	東京証券取引所市場第二部に上場
1980年（昭和55年）	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定替え
1981年（昭和56年）	米国に進出、海外展開を加速させる
1994年（平成6年）	中国・北京に合併会社五洲大気社工程有限公司を設立
2011年（平成23年）	Geico S.p.A.社（イタリア・ミラノ）と業務・資本提携
2013年（平成25年）	創立100周年を迎えた（新中期経営計画を発表）
2014年（平成26年）	Encore Automation LLC(米国ミシガン州)と業務・資本提携
2017年（平成29年）	BTE Co., Ltd.（タイ）と業務・資本提携



(参考) 業績の推移①

単位：億円

	2015.3	2016.3	2017.3
完成工事高	1,836	2,124	2,006
完成工事総利益	272	325	281
(同率)	14.8%	15.3%	14.0%
販管費	185	198	196
(同率)	10.1%	9.3%	9.8%
営業利益	86	127	84
(同率)	4.7%	6.0%	4.2%
経常利益	95	123	98
(同率)	5.2%	5.8%	4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	70	63
(同率)	3.3%	3.3%	3.1%
ROE	6.9%	7.6%	6.8%

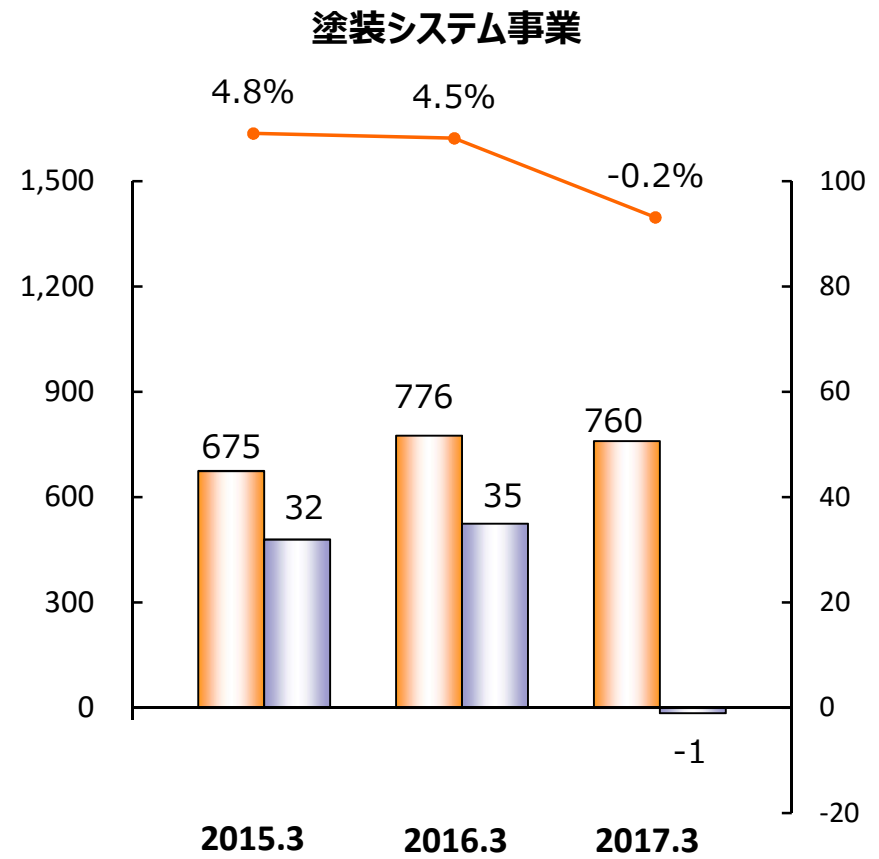
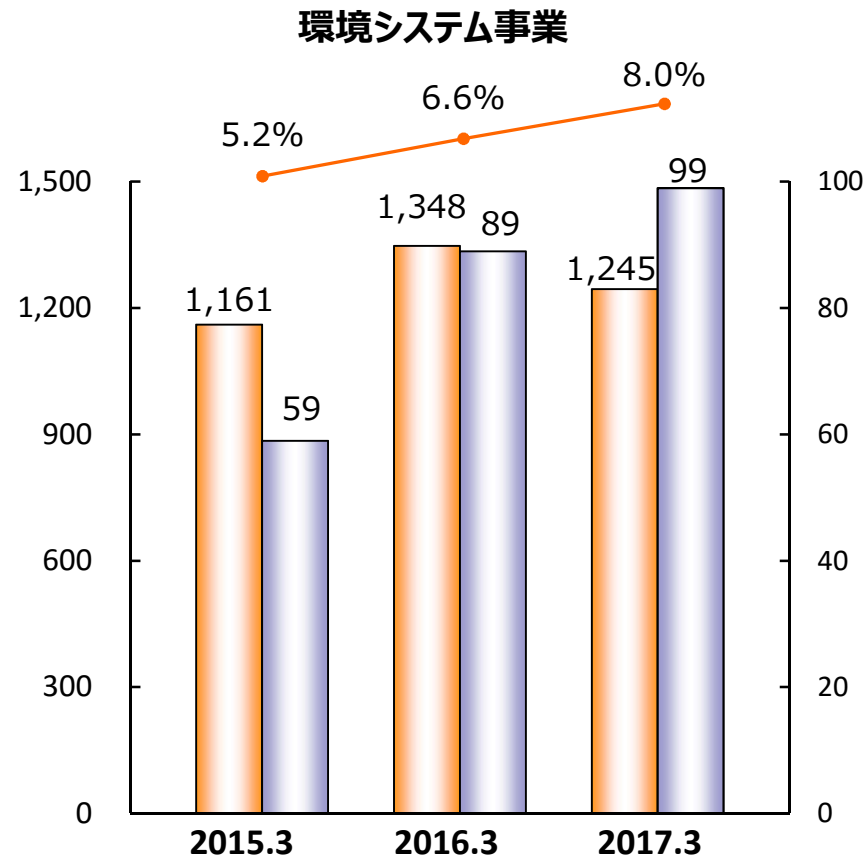




(参考) 業績の推移②

報告セグメントごとの完成工事高及び経常利益

単位：億円

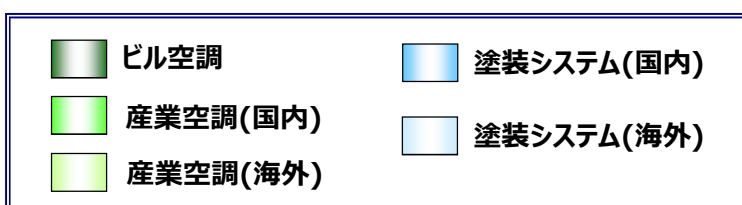
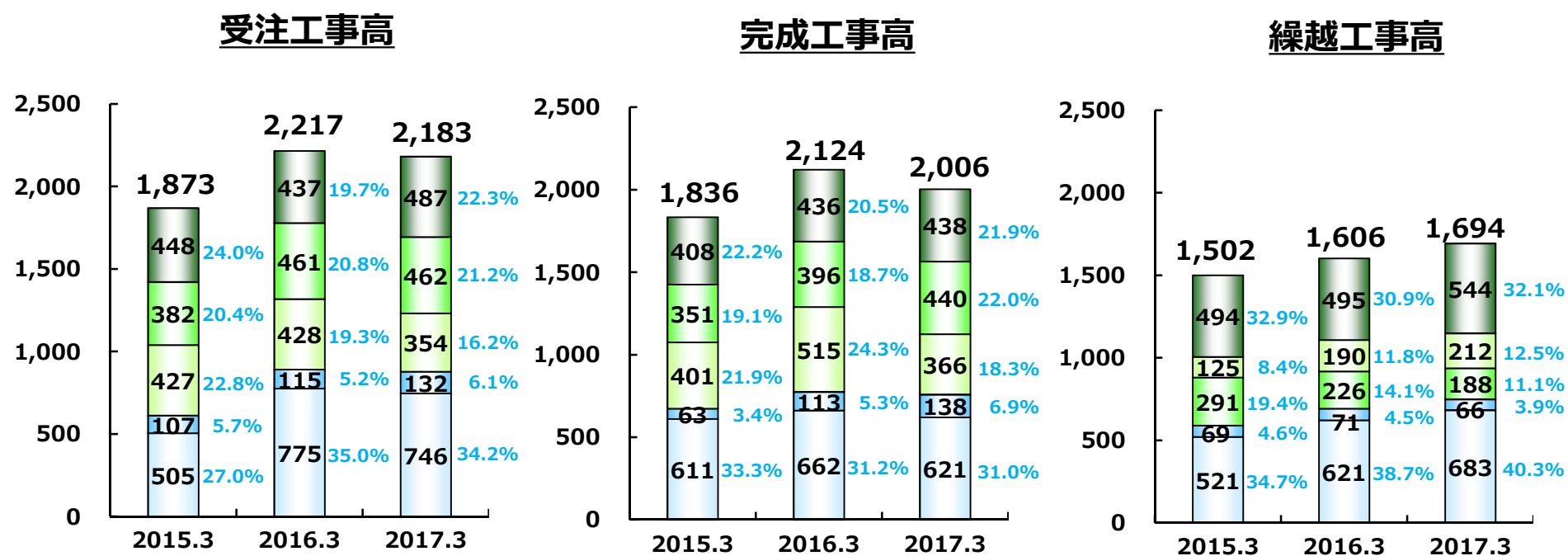


完成工事高 経常利益 経常利益率

(参考) 業績の推移③

受注工事高／完成工事高／繰越工事高

単位：億円



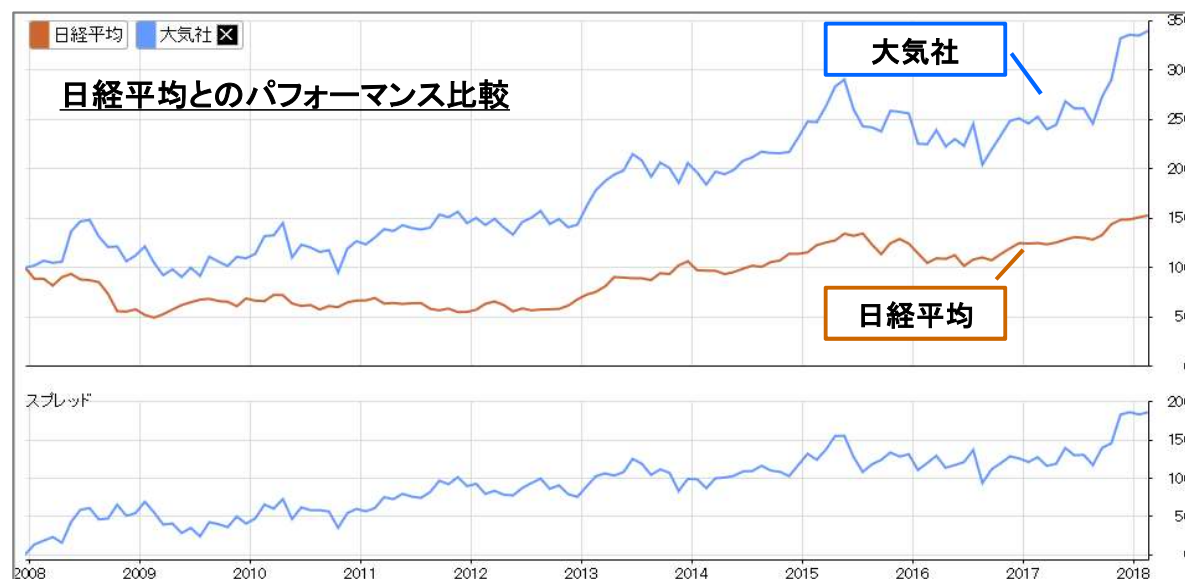
(参考) 連結貸借対照表

単位：億円

科目	2016.3	2017.3	増減
流動資産	1,486	1,529	42
現金預金	440	422	-17
受取手形・完成工事未収入金	927	1,009	82
有価証券	0	0	-0
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	21	22	0
その他	101	78	-23
貸倒引当金	-4	-4	-0
固定資産	408	461	52
有形・無形固定資産	122	127	4
投資有価証券	224	256	31
その他	61	77	16
貸倒引当金	0	0	0
資産合計	1,895	1,990	94

科目	2016.3	2017.3	増減
流動負債	834	886	51
支払手形・工事未払金等	492	552	60
未成工事受入金	159	155	-3
工事損失引当金	1	7	6
その他	181	169	-11
固定負債	101	102	0
負債合計	936	988	51
純資産	959	1,001	42
資本金	64	64	0
資本剰余金・利益剰余金	812	852	39
自己株式	-51	-61	-10
その他有価証券評価差額金	79	99	20
繰延ヘッジ損益	0	-1	-1
為替換算調整勘定	15	3	-11
退職給付に係わる調整累計額	-10	0	10
少数株主持分	48	44	-4
負債純資産合計	1,895	1,990	94

(参考) 株価の推移



(参考) アナリストカバレッジ

当社の業績などを分析し、論評などを行なっている証券会社のアナリスト

- いちよし経済研究所
溝口 陽子 氏
- SMBC日興証券
川嶋 宏樹 氏
- 大和証券
寺岡 秀明 氏
- 立花証券
島田 嘉一 氏
- 野村証券
前川 健太郎 氏
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
水谷 敏也 氏
- UBS証券
渡辺 真理子 氏



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 企画・広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195